



1年学年だより

発行日：令和4年12月23日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 8

2022年を振り返って

副校長 山田 文映

仕事が終わって外に出ると辺りはもう真っ暗なのですが、校内の駐車場にはあちこちにイルミネーションが灯っていて、毎日癒されています。このイルミネーションは高校の環境美化委員会の方たちが付けて下さっているのだそうです。12月に入り、イルミネーションの数が少しずつ増えています。高校の先輩方のお陰で私を含めた沢山の人が帰り道に温かいひとときを頂いています。

先日、学校図書館で「誰が歴史を書いているの？歴史をめぐる15の疑問」という本を見つけました。子ども向けの本ですが、なかなか興味深い事が書いてありました。「歴史」という言葉を聞いただけで眠くなってしまふ人もいるかもしれませんが、人類の歴史は誰かの人生、つまり一人ひとりの物語でできているとありました。教科書に載っている歴史はこれまでの沢山の人の物語の中のほんの一部でしかないのです。歴史は毎日いろいろなところで作られ、繋がっていきます。

さて、附属中学校では夏休み後の2学期の間にも、様々な物語がありました。9月は南高祭が盛大に行われ、10月には2年生がイングリッシュキャンプ(2泊3日、御殿場)に行きました。11月には生徒会役員選挙、そして12月には3年生が京都研修旅行(2泊3日、京都)に行き、校内では生徒会による全校企画が行われました。また、日常の教科学習、EGG、委員会、部活動等の活動の中でも様々な物語があったと思います。皆さんはどんなことが心に残っていますか。一人ひとりが自分のために頑張ったことや誰かのためにしたことは、まだ結果は目に見えないかも知れませんが、いろいろなところで繋がっていて、新たな歴史を生み出していると思います

2022年もあと少しとなりました。皆さんにとってこの1年はどんな年でしたか？自分の歴史、学校の歴史、社会全体の歴史を振り返り、そして一人ひとりの想いや行動で更に新しい歴史を繋いでいけると良いですね。

寒さが続きますが、お身体を大切に。皆様どうぞ良い年をお迎えください。

学年集会 ～謎解き～

12月8日(木)7時間目に学年集会を行いました。学級委員主催の謎解きです。クラスを超えてチームを作り、協力してアリーナ内に隠されている謎解きをしていくというもの。最後まで解ききったチームが多かったですね。学級委員さんの準備の賜物です。みなさんの班は同じ11期生としてチーム力を発揮できましたか？以下学級委員さんからの振り返りです。

1組

今回の学年集会は、クリスマスが近いということで、クイズもクリスマスに関わるものがそこそこあったと思います。そして学級委員はクリスマス帽で臨みました!今回は協力不可欠のグループ別での集会で、より他クラス間での交流が深まったと思います。次の学年集会は3学期、何をやるかは言えませんが、とても楽しく仲を深められる、そして、お互いをより深く知ってもらいたいという思いで準備しています!お楽しみに!!

2組

今回の学年集会では、期末テストと時期が近かったこともあり、時間があまりありませんでした。しかし学級委員が協力して、みんなに楽しんでもらえる集会にすることができました。当日にはヒントの紙が足りなくなったり色々なアクシデントもありましたが、臨機応変に対応することができました。

3組

私たちは今月8日に2回目となる学年集会を開催しました。企画においては、実際にやってみないと想像がつかないことなどが多々あり、企画することの大変さを実感しました。委員の間でも、どうしたらクラスを超えて仲を深められるかということには苦勞しました。ですが、当日、沢山の人が他クラスの人と躊躇わずに話している姿を見ることができ、達成感を感じました。3学期の学年集会も企画しているので、楽しみにしてください。

4組

私は今回の学年集会を通して「自分達で成果を出せた時の喜び」というものを学びました。学年集会が終わって、各グループの番号が書かれた紙を集めていた時。あるグループの紙に「学級委員さんありがとう」というありがたいメッセージが残されていました。それを見て私は、自分達のしてきたことが報われた感じがして、とても嬉しくなりました。

3学期の学年集会でも、みんなに楽しんでもらえたという成果を出せるよう準備したいし、普段の生活の中でも人の役に立てるよう頑張ろうと学年集会を通して思いました。



全校集会～チョコキの女王～

12月13日(火)7時間目に生徒会役員主催の全校交流企画が行われました。全校生徒が8人チームを組み、事前の自己紹介・作戦会議でグー・チョコキ・パー担当を決め当日に臨みました。以下、学級委員さんの振り返りです。

1組

小学校の時は全校でレクリエーションをする機会が無かったので、企画委員会で全校企画のことを聞いた時は、楽しみにしていました。ですが、実際に全校企画の話が進んでいくと、これで本当に必要なことをクラスに伝えられたかな…と感じることが多くなりました。そして当日！天気は雨でアリーナ開催となってしまい、試合でも相手チームにすぐ攻撃され、数秒で負けてしまいました。悔しかったのですが、関わりがあまりない先輩、同級生と話すことができて良かったです。



2組

今回の全校集会は、今の1年生から3年生は誰も経験した事がないと聞いていたので、不安がありましたが、成功させたいという気持ちと出来たらきっと楽しんだろうなという気持ちで自分達に出来ることを頑張りました。全校集会という大きな企画に関われたこと、そして、全校集会が終わった後にクラスメイトから「凄く楽しかった」と言ってもらえたことがとても嬉しく、生徒会本部の方々への感謝と達成感でいっぱいになりました。



3組

企画委員会では、縦学年と交流できる、体を動かす、運動が苦手な人でも楽しめる、といった条件で企画を考えました。

「チョコキの女王」のルールで、グーどうしはグータッチ、パーどうしはハイタッチにして交流するアイデアにはとても感心しました。今年最後の7限目でしたが、みんなが疲れをふきとばして元気に楽しく交流している姿を見て、この企画に携われたことが、とても良い経験になったと思います。



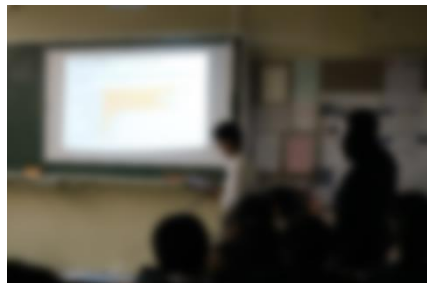
4組

今回の全校集会は、何ヶ月も前から何をするか企画委員会で話し合ったり、生徒会の方々が、どのようにしたら楽しめるのかを決めてくれました。それだけたくさんの方が考え、行動した大規模な集会は楽しかったと思います。集会の目的である「一人一人が生徒会員であることを自覚する」というのを意識して取り組みましたか？僕は楽しむことと目的のバランスをとり、最高のものにできました。



EGG ゼミ ～中間報告～

12月17日(土)後期 EGG ゼミの中間発表が行われました。各班のテーマに沿っての実践編です。班ごとにインタビューやアンケート、事業所の訪問などをして実践を重ねています。3月には最終発表会を行う予定です。



みちをのつぷやき「これで良いということではないけれどこれが**今の**精一杯」

W 杯での日本代表はベスト8という目標を掲げて、あともう一步のところまで目標には届きませんでした。届かなかったけれども、きっと多くの困難を乗り越え並々ならぬ努力を重ね、できることを全力でやって戦った結果がこの結果だったのだと思います。掲げた目標に届かなかったことも含めて、「これで良いということではないけれど、これが日本代表の**今の**精一杯」だったのだと思います。日々の自分の取り組む姿勢やそこから得る結果がもう充分だというわけではないけれど、まだまだ日々成長していくけれど、**今の**自分はこれが精一杯ということを自覚して過ごすことも大事なかなと思います。2022 年も終わりに近づいてきました。2023 年も家族や周りの仲間、そして先生たちと精一杯、目一杯楽しい時間を過ごしていきましょうね。